

お客様・施工業者様へ 安全に関するご注意

水栓金具は、機能、使用目的、設置方法の違いから、適切な設置条件を満たしていないと、水栓の機能が十分に発揮できない場合があります。設定条件、使用条件をご確認の上、器具を選定ください。施工時には必ず下記条件を設定してください。

購入前に

◆ 水圧の確認

	最高・最低水圧	水圧条件	備 考
サーモスタート付	・最高水圧 0.75MPa(静止時)	やけど防止・配管保護のため、 給水圧力は給湯圧力より必ず 高くするか同圧になるように してください。	・給水圧力が0.3MPa以上は流量調節 止水弁で調節してください。 ・給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販 の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
ミキシング付	・最低水圧 0.05MPa(流動時)		
シングルレバー式 (一部シャワー式を除く)	※快適に水栓をお使い いただくためには、0.2 ～0.3Mpa程度の圧力 をおすすめします。	給水圧力はできるだけ 湯水同圧にしてください。	・キッチン用及び洗髪用のシャワーは最低 必要水圧0.1MPa以上確保してください。
2ハンドル式			


他所の水栓の使用などにより水圧変動
が起こり、湯の使用中に湯温が上昇する
ことがあります。

2ハンドル・シングルレバー水栓に比べ、
吐水温度の変化の小さいサーモスタート
水栓のご使用をおすすめします。

◆ 給湯機の確認

- ・取り付けの前に給湯機の能力を十分確認してください。シャワー吐水量が少なくなり、快適にシャワーを使用することができなくなることがあります。
たっぷりの水量をお好みの場合、電気温水器は「高圧型」をおすすめします。

◆ 凍結が予測される地域での確認


- ・北海道、東北地方以外の凍結が予測される地域においてもマークの付いた寒冷地用水栓をご使用してください。凍結が予想される場合は水抜きを行ってください。凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

◆ 水質の確認


- ・水栓に使用できる水質は、水道水及び飲用可能な井戸水です。このカタログに掲載している商品には、水道水及び飲料可能な井戸水(地下水)以外は使用しないでください。ただし、飲用可能な井戸水でも水あかの付着・緑青発生・砂噛みでの回転不良や、止水不良、温度調節不良などのおそれがありますので定期的なメンテナンスが必要です。温泉地で使用される場合や温泉成分を含む入浴剤を使用される場合、温泉成分により機能障害・腐食することがありますので、お避けください。

寒冷地用商品の説明とご注意

◆ 寒冷地用商品とは……

- ・寒冷地において冬期凍結が予想される場合、凍結による水栓の破損を防止する為の水抜き操作等ができる商品のことを言います。
《 寒冷地用》 JIS規格の耐寒性能を充たした商品です。

◆ 自分のところは凍結破壊は大丈夫と思うのが危険

- ・北海道、東北地方においては凍結破壊の恐さがよく理解されていますが、それ以外の寒冷地ではまだ、凍結による破壊が十分理解されておらず、水抜き機能がない一般用水栓を使用して凍結が原因による水栓本体の破壊を起こすケースがあります。北海道、東北地方以外の凍結が予想される地域においてもマークの付いた寒冷地用水栓をご使用いただくと共に、凍結が予想される場合は水抜きを行ってください。

設置について

- ・やけど防止・配管保護のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか同圧になるようにしてください。
- ・水量調節及びメンテ性の向上のために、キャビネット・流し台内に給湯・給水配管及び止水栓を設置することをおすすめします。キャビネット・流し台の裏側に配管施工した場合、経時変化による漏水などを発見しにくくなります。
- ・台付水栓は、止水栓とのセットをおすすめします。
- ・寒冷地用商品は配管途中に水抜き栓を設けて、器具と配管両方の水抜きが必要です。

施工上の注意

- ・設置工事をされる場合は「施工説明書」をよく読んで施工してください。
- ・スチームルームにご使用の際はご相談ください。器具が破損してやけど、漏水のおそれがあります。
- ・湯水を逆に配管しないでください。器具が正常に作動しません。又、水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- ・凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・施工完了後は、配管接続部及び水栓から水漏れのないことを確認してください。漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・器具のお取り付け前に必ず配管中の異物などを洗い流して下さい。お引渡し前に吐水温度の調節を必ず実施してください。
- ・器具を隠ぺい部に設置する場合は必ず、点検口を設けてください。